

顔、や体・生まれつきのもので考え
方は一人一人ちがっていて、自分と全く
同じという人はいない。それは当たり前
前なこと、一人で一人がほかとちがう
いいこと、わるいことがあることは、
人間や生き物の、すばらしい特ちょう
うだと私は思う。でも、世界では、
そのちがうことで差別を受け、苦
しい思いをしている人がたくさん
いる。その差別は、どうしたらなく
せるだろうか。また、私たちにでき
ることは、あるのだろうか。

「女性だから差別される」と
という資料を読むと、世界では、
女性であるというだけで、教育
を受けられない、人身売買、で売
られてしまうなどのやまやまな
差別を受け、苦しい思いをしてい
る人がたくさんいるとわかる。
そして、このように差別を受け
やすい性別、生まれた環境など
は、簡単に変えられないこと
だと私は思う。また、六年生で
習った「ぼくの世界、君の世界」で
は、考え方、感じ方などは一人一人
ちがうということが書いてある。
こういう「心」と関係するもの

も、差別を受けられる対象になり
うるし、これも、簡単には変え
られないことだと思おう。つまり、
差別を受けられる人は、どうしよ
うもできないことが多いのだ。
だから、差別をすすめる人の気持ち
が変わらないといけな思っ
た。

このようなどうしようもで
きない差別」というのは、小さく
てもわりと身近にあるものだ
と思う。その小さな差別を、
私たちが一つずつ減らして
いき、人のわるいところより、
いいところを見つけられる
人を、増やしていく取り組み
をしたら、いつか大きな差別
も減らしていけると思うのだ。
たしかに、女性というだけで
売られるなどの差別があ
ると知ると、私たちの力だけ
で減らしていけるのかと不
安に思いかもしれない。しかし、
け、きよく差別というのは、差
別をしている人が、人のどうし
ようもできないこと(簡単に変
えられないこと)を、わるいと

「決めつけている」ことが原因
だと思おう。だから、そういう
人たちが、わるいことだと決めつ
けず、一人一人ちがうことを理
解すれば、差別は簡単に少
しずつなくせると思う。

そうなるように、まずは私た
ちが、人のわるいところも受
け入れられる、広い心をもつべ
きたと思うのだ。

出典「EduTown SDGs」

世界の国や地域と協力
して、持続可能な開発を

目指すSDGs

東京書籍